

薩摩のお姫さま

夢ともうつつもなく、いま自分が座っている場所は今和泉家のあの岩本村の別邸のような感じに浸っていることもあり、妹の於才が、「あれ姉上さま、今日の桜島をごらん遊ばしませ。煙草をたくさんに、ぶかぶかとぶかしております」（中略）

桜島のご機嫌のよい日は、煙草はほんの一服、いかにも気持ちよさそうにまっすぐに煙を立たせるだけだが、少し斜めのときにはもくもくと噴き、そして怒れば目の前が霞むくらいの灰を降らせるのを、いまなつかしく思い起こしているのであった。

天璋院篤姫 宮尾登美子著／講談社より抜粋



鹿児島県指宿市にある、今和泉小学校や指宿商業高校の敷地内に、今和泉家の別邸があったとされる。今も浜辺に残る石垣は、その当時のもの。現在こそ少なくなったが、篤姫が浜辺で遊んでいた頃は、松林がもっと長く続いていた。風光明媚な面影が今も残る



今和泉家の墓。指宿市今和泉の集落にあり、浜辺から山側に歩いた場所にある。天璋院篤姫は、上野實永寺（徳川家の墓）に眠る。ちなみに徳川家の将軍の墓で、夫婦の墓が並んで建っているのは、13代将軍家定と篤姫夫婦、14代将軍慶福と和宮夫婦だけである



今は今和泉小学校内に残る、今和泉家の手水鉢（上）と井戸跡（左）。敷地の広さはどのくらいだったのだろうか



小松帯刀

鹿児島市山下町宝山ホール前庭にある小松帯刀の銅像は、大政奉還に他藩に先駆けていち早く賛同し、署名する姿を表している。小松帯刀は明治維新の立役者の一人であり、薩摩出身の一員でありながら「幻の宰相」と呼ばれた。それは、弱冠28歳で家老になりその政治手腕は高く評価されたが、病に倒れ、36歳という若さでこの世を去った天折の人だからである。彼の功績は大久保利通や西郷隆盛の影に霞んでしまっ、歴史の表舞台にはなかなか出てこない。小松帯刀は、幼名を肝付尚五郎という。肝付家の三男として生まれ、その後、23歳の時に、小松家の当主が急死し、島津斉彬のすすめもあり急遽小松家の養子となった。そこから政治家としての頭角を現すことになる。帯刀は、上司である家臣だけでなく、部下である領内の若者たちの話もよく聞いた。親睦を計るよう領内で相撲の大会を開催、その夜の懇親会では「今日は無礼講だ」と百姓や若い武士と大いに語り合う。百姓の目頃の仕事を労い、これからの未来を担う若者の意見を聞いた。そんな帯刀の名君ぶりはまたたく間に薩摩全体に広まり、斉彬が亡くなった後も、中央での大名との交渉事や、公家と武家の調停に奔走、その功績を認められ島津久光により弱冠28歳で家老に昇進した。薩長同盟など極秘で重要な取り決めは京都二本松にあった帯刀の別邸で行われていたという。帯刀が坂本龍馬や西郷隆盛など幕末の偉人たちから信頼されていた証拠だ。最後の將軍徳川慶喜に大政奉還を勧告し、無血開城となったのも帯刀の働きなしにはありえなかった。ちなみに坂本龍馬とは同じ天保6

く聞いた。親睦を計るよう領内で相撲の大会を開催、その夜の懇親会では「今日は無礼講だ」と百姓や若い武士と大いに語り合う。百姓の目頃の仕事を労い、これからの未来を担う若者の意見を聞いた。そんな帯刀の名君ぶりはまたたく間に薩摩全体に広まり、斉彬が亡くなった後も、中央での大名との交渉事や、公家と武家の調停に奔走、その功績を認められ島津久光により弱冠28歳で家老に昇進した。薩長同盟など極秘で重要な取り決めは京都二本松にあった帯刀の別邸で行われていたという。帯刀が坂本龍馬や西郷隆盛など幕末の偉人たちから信頼されていた証拠だ。最後の將軍徳川慶喜に大政奉還を勧告し、無血開城となったのも帯刀の働きなしにはありえなかった。ちなみに坂本龍馬とは同じ天保6

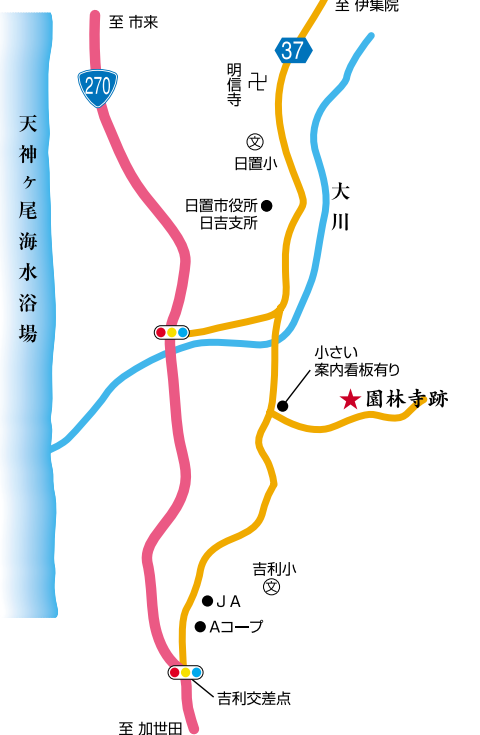


鹿児島市原良町にある小松帯刀屋敷跡

年の生まれ。寺田屋事件で傷ついた龍馬と妻おりょうが鹿児島に新婚旅行に来た時に逗留していたのも帯刀の屋敷だったという。龍馬が亡くなる前、新政府を作るとしたら誰を備人にするか。龍馬が筆頭に上げたのは小松帯刀であった。



園林寺という寺に、小松家の墓がある。小松帯刀と正妻の墓の他に、ひっそりと京都の妾、琴仙子の墓が建てられており、和歌に優れたこの妾との歌のやり取りは今も語り継がれる。ちなみに今は寺の跡で、入り口には階段と仁王像が片方残されている



尚古集成館
所在地 〒892-0871 鹿児島市吉野町9698-1
電話 / 099-247-1511
FAX / 099-248-4676
入館料 / 仙巖園と共通券 大人 1,000円 子供 500円
開館時間 8時30分～17時30分(3/16～10/31)
8時30分～17時20分(11/1～3/15)
休館日 / 年中無休
アクセス 鹿児島から宮崎に走る国道10号線沿い 左側 JR鹿児島中央駅から車25分 鹿児島空港から車40分 民営バス3社・カゴシマシティビュー 仙巖園前(磯庭園前)下車 徒歩1分 駐車場完備(バス50台・乗用車500台)



薩摩の心を織り込んだ和室
四季の彩り豊かな
心尽くしの料理でおもてなし

政府登録 ホテル
秀水園

〒892-0828
鹿児島県指宿市湯の浜5-27-27
TEL 0993-23-4141
http://www.syusuien.co.jp



黒麹使用
本格焼酎
幻の宰相
小松帯刀
こまつたてまき
小松帯刀



小松帯刀(1809)は、薩摩藩城代家老。慶応二年(1856)京都の小松屋敷で坂本龍馬、小松帯刀、小松帯刀立会のもとに西郷隆盛と木戸孝允との間で薩長同盟を成立させるなど、明治政府の誕生に大きな力を発揮した。